

2025 年大阪・関西万博「ガスパビリオン おばけワンダーランド」  
開館式の挙行について

2025 年 3 月 27 日  
一般社団法人日本ガス協会

一般社団法人日本ガス協会は、2025 年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）に出展する「ガスパビリオン おばけワンダーランド」（以下、「ガスパビリオン」）の開館式を、本日、大阪・関西万博会場内のガスパビリオンにて執り行いました。

記

## 1. ガスパビリオン開館式概要

2025 年日本国際博覧会協会の石毛事務総長をはじめご来賓をお迎えし、展示・設計・建設等の主要パートナーとして株式会社日建設計、株式会社奥村組、株式会社電通、株式会社電通ライブ、並びに出展者である弊協会の関係者が参列しました。開館式では、弊協会長の内田高史による挨拶ののち、ご来賓代表者を交えたテープカットを行いました。



【ご来賓代表者を交えたテープカット】



【内田会長の挨拶】

### 内田会長挨拶（要旨）

■大阪・関西万博で“心ふるわす体験”を

いよいよ 184 日間の「大阪・関西万博」が幕を開ける。約 160 の国や地域が参加し、日本国内はもとより、世界中からたくさんのお客さまのご来場が見込まれる。人や文化に触れ、歴史や技術に感動し、未来を思うような“心ふるわす”体験をしていただきたい。

■おばけワンダーランドで「化けろ、未来！」

ガスパビリオンは、「おばけ」たちと一緒に未来に向かって「化ける」体験ができるエンターテインメントパビリオン。将来を担う子どもたちに未来のエネルギーや社会について考えるきっかけを提供したい。

## ■未来のエネルギー「e-メタン」

ガスパビリオンでは、天然ガスと主成分を同じくする、未来のエネルギー「e-メタン」について分かりやすく紹介する。他にも大阪ガスが実施するメタネーション実証施設では、万博会場内の食品残渣(ごんさ)から出るCO<sub>2</sub>をグリーン水素と反応させて「e-メタン」を作り、会場内の迎賓館などへ都市ガスとして供給する予定にしている。万博の地から、「e-メタン」をはじめとする、将来のガスのカーボンニュートラル化に向けた取り組みを発信・加速していく。

以上

お問合せ先:一般社団法人日本ガス協会 広報室 (03-3502-0112)

<参考>

### 「ガスパビリオン おばけワンダーランド」施設概要

#### 【建築】

面積	敷地面積：2,126.26 m <sup>2</sup> 建築面積：1,231.43 m <sup>2</sup> 延床面積：1,557.79 m <sup>2</sup>
構造	S造
設計	基本設計：株式会社日建設計 実施設計：日建設計・奥村組設計共同企業体
工事監理・施工	株式会社奥村組

#### 【展示】

総合プロデュース	株式会社電通／株式会社電通ライブ
設計・施工	株式会社電通ライブ